

報告事項 1（周知・報告）

エンパワメントスクールの平成27年度末の状況及び平成28年度
の新生の状況並びに平成29年度設置予定校の概要について

標記について、別紙のとおり報告する。

平成 28 年 6 月 17 日

エンパワメントスクールの概要

エンパワメントスクールでは、社会人として必要な「基礎学力」「考える力」「生き抜く力」を育みます。

◆30分モジュール授業

1年次の国語・数学・英語の授業は、毎日1・2時間目の時間帯に30分×3の授業として、少人数で習熟度別を実施し、基礎学力を身につけます。

◆エンパワメントタイム

毎週4時間×3年間実施。「正解が一つでない問題を考える」、「キャリア意識を身につける」、「コミュニケーション力をつける」をテーマにグループ学習や体験学習を行い、社会で活躍するために必要な考える力を身につけます。

◆生徒が相談しやすい環境と体制を整備

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、キャリア教育コーディネーターなどのプロフェッショナルの外部人材を配置します。

I 学校の状況（3校の平成26年度入学生と平成27年度入学生の1年次末データの比較より）

1. 欠席者数 各校 3割～7割 減少
2. 遅刻者数 各校 3割～5割 減少
3. 中退者数 各校 4割～6割 減少
4. 学校行事 3校とも活発化

西成：生徒会役員やクラブ生徒が中心となり、生徒主体で準備をするようになるなど、体育祭や文化祭が活発化

長吉：前年度までは実施していなかった体育祭を実施
文化祭では劇やコーラスなどのクラス発表を実施

箕面東：前年度までは実施していなかった体育祭を実施
文化祭ではクラス対抗ダンス大会を実施、学年球技大会を実施

II 学習の状況

■3校教員からのヒアリングより

- ・生徒は授業に集中しており、中学校の時より考査で点数が取れたということで、学んだという達成感をもつ生徒が増えている。
- ・改編前と比べて「勉強は大事」という意識が向上し、学習習慣が身についてきた。
- ・授業の補習に進んで参加したり、欠席した授業のプリントを受取りに来るなど、学習に対して前向きな生徒が増えた。
- ・国語、数学、英語のモジュール授業を受けるため短時間で教室を移動するなど、進んで授業を受ける準備ができてきた。
- ・多くの生徒が、積極的に授業で発言したり、発表できるようになってきた。



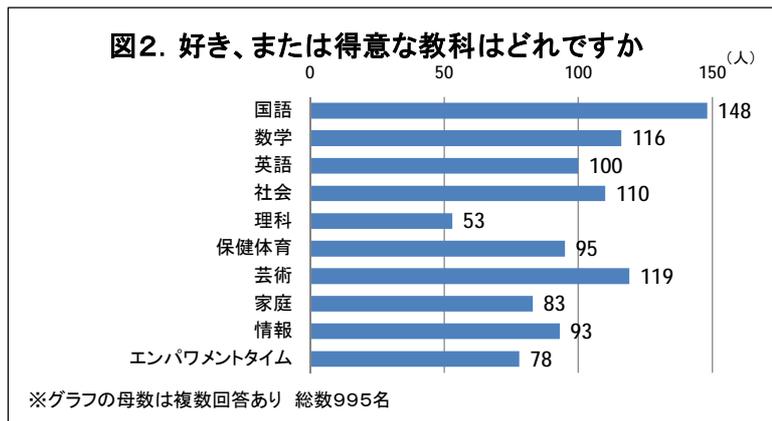
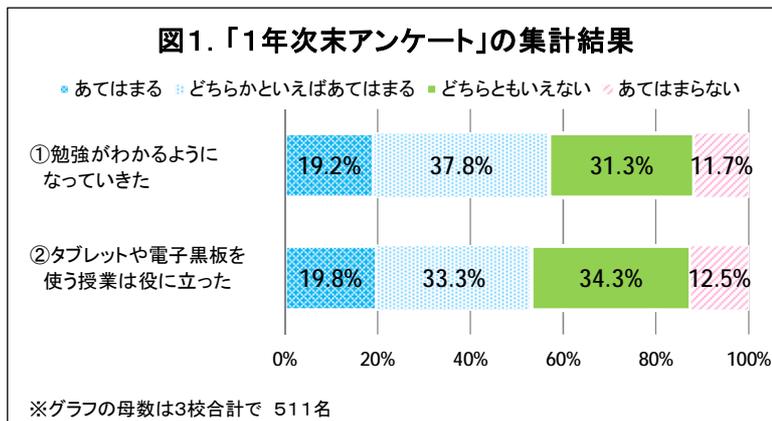
授業の風景（箕面東高校）

■「1年次末アンケート」集計結果より

- ・「勉強がわかるようになってきた」と回答した生徒は57.0%であった(図1-①)。

また、「タブレットや電子黒板を使う授業は役に立った」と回答した生徒が53.1%であった(図1-②)ことから、視覚的な授業が効果的であったと考えられる。

- ・「好きな、または得意な授業」に関しては、**国語**を選んだ生徒が最も多く、続いて芸術、数学、社会の回答であった(図2)。この要因としては、30分のもジュール授業やICTを活用した授業がわかりやすいと実感していると考えられる。また、理科を選んだ生徒は最も少なく、今後、授業改善を進める。



■「入学時学力診断テスト」及び「1年次末学力診断テスト」集計結果より

- ・国語については、毎日のモジュール授業において、中学校で習う常用漢字を反復して学習した結果、約8割の生徒が、学習した漢字の読み方をクリアしている。
- ・数学については、毎日のモジュール授業で意欲的に取り組んだ結果、複雑な数式の計算の正答率が7割まで上昇した。
- ・英語については、毎日繰り返し英語に触れることにより、約8割の生徒が簡単な日常会話を理解できるようになった。

■さらなる授業の充実に向けて

- ・勉強がわからないことが原因で留年、中退する生徒をさらに減らす。

①入学時・学年末に国語・数学・英語の学力診断テストを実施。

→生徒が十分に理解していないところを分析し、授業改善を行う。

②エンパワメントスクール5教科の教員による情報交換会を各学期に実施、公開授業・研究協議を1年間に1回以上実施。

→教員の授業スキルアップにより、生徒が「わかった・できた」と実感できる授業を行う。

Ⅲ 「正解が1つでない問題」を考える授業「エンパワメントタイム」

■3校の「エンパワメントタイム」 担当教員からのヒアリングより

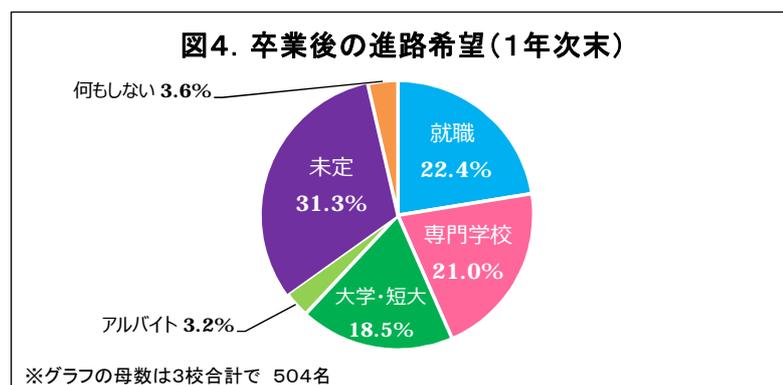
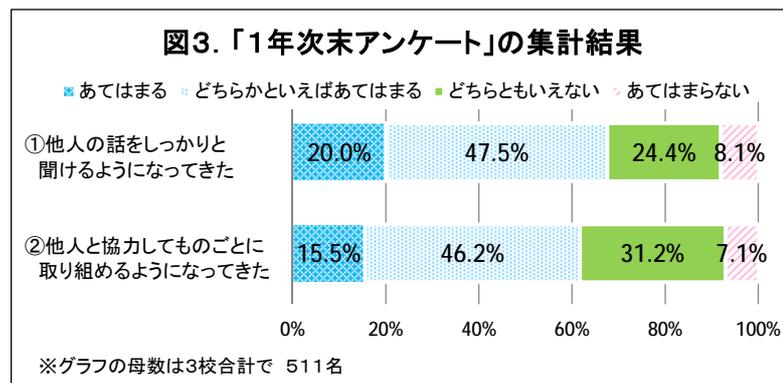
- 5教科の授業では発言しにくい生徒も、グループ学習の中で意見を言えるようになってきた。
- グループの中で意見交換や協働作業をする中で、生徒間の相互理解が深まってきた。



エンパワメントタイムの風景（長吉高校）

■「1年次末アンケート」の集計結果より

- 「他人の話をしっかり聞けるようになってきた」については 67.5%（図3-①）、「他人と協力してものごとに取り組めるようになってきた」については 61.7%（図3-②）の生徒が肯定的な回答をしていることから、コミュニケーション力向上につながっていると考えられる。
- 入学時は卒業後の進路について「未定」と答えた生徒が 40%弱で最も多かったが、1年次末には、「未定」と答えた生徒は 31.3%に減少した（図4）。



■エンパワメントタイムの充実に向けて

- 自分の意思で進路を選択できる力、社会参画する力をつけるために、世の中のしくみや仕事への理解を深める「エンパワメントタイム」のさらなる改善を行う。
 - ①年度末にアンケートを実施し、中学校時代と比べて生徒の意識や能力がどのように成長したのかを把握し、効果検証を行い、エンパワメントタイムの内容をより充実したものにす。
 - ②生徒の興味・関心を引き出す授業にするため、すべてのエンパワメントスクールで指導計画、教材、指導案を共有し、教員研修により教員の指導力の向上に努める。

Ⅳ 平成28年度入学者選抜の状況

■ 志願倍率

| 開校年度 | 校名 | 志願倍率 | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|------|
| | | H26 | H27 | H28 |
| 平成27年度開校 | 西成 | 1.66 (前期) | 1.19 | 1.18 |
| | | 0.73 (後期) | | |
| | 長吉 | 1.02 (前期) | 2.17 | 1.51 |
| | | 2.45 (前期) | | |
| 箕面東 | 1.05 (後期) | 1.44 | 1.14 | |
| | 2.55 (前期) | | | |
| 平成28年度開校 | 成城 | 2.44 (前期) | 1.32 (後期) | 2.18 |
| | | 1.47 (後期) | | |
| | 岬 | 2.04 (前期) | 0.74 (後期) | 1.3 |
| | | 1.09 (後期) | | |
| ES全体 | | — | 1.59 | 1.46 |

Ⅴ 平成28年度新入生について

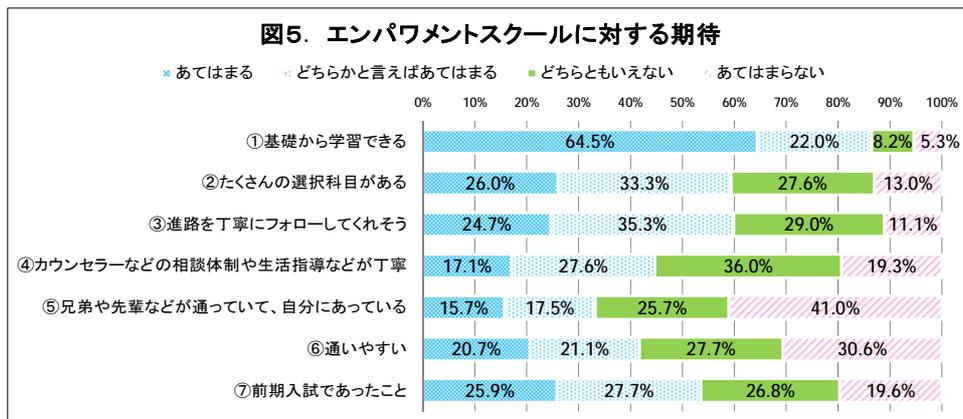
■ 「平成28年度新入生アンケート」結果より (カッコ内の数値は「平成27年度新入生アンケート」結果)

- ・ 高校を知ったきっかけ

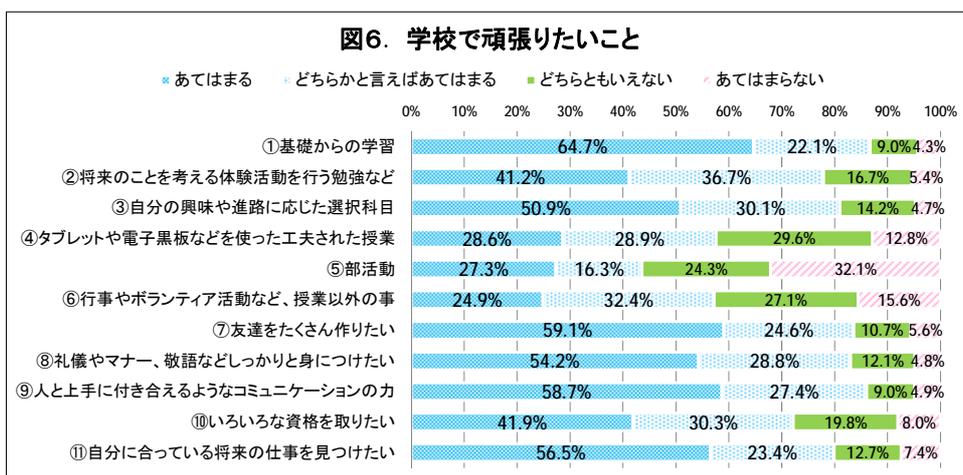
「もともと知っていた」…32% (24%)、「先生の勧め」…29% (27%)、
「家族や知人」…21% (28%)、「ちらし・パンフレット・ポスター」…11% (15%)、
「学校のHP」…3% (6%)

「もともと知っていた」や「先生の勧め」の割合が高く、昨年度よりも増加したことから、エンパワメントスクールについての認知度が上がったと考えられる。

- ・ 「エンパワメントスクールに対する期待」(図5)については、昨年度と同様、基礎学習や進路実現に対する期待が高く、エンパワメントスクールの理念を理解した生徒が入学している。



- ・ また、「学校で頑張りたいこと」(図6)に関しては、基礎学力や進路実現に対する意欲に加えて、コミュニケーション力育成に関する項目が昨年度同様に高く、「エンパワメントタイム」や「体験授業」を通じて社会人基礎力をさらに育成することが求められている。





エンパワメントスクール 大阪府立布施北高等学校

所在地 〒577-0024 東大阪市荒本西 1-2-72
最寄駅 近鉄奈良線 若江岩田駅下車 北西へ約1400m
近鉄けいはんな線 荒本駅下車 南へ約1000m

基礎基本の学力育成と先進的なキャリア教育に力を入れる「デュアルエンパワメントスクール」です。

【めざす学校像】

生徒の「社会と調和し自立して生きる力」を育み、地域から信頼される学校

【生徒に育みたい力】

1. 自己を高める力・・・確かな学力(読み・書き・計算・表現力)を育み、ねばり強さと未来に希望を持つ志を育みます。
2. 人とつながる力・・・人とつながる喜びを知り、周囲と協力し合う力を育みます。
3. 社会に貢献する力・・・地域・社会に貢献しようとする意欲と実行力を育みます。

【教育課程等】

■教育課程編成方針

1. 『基礎基本』の学力の定着
30分モジュール授業や習熟度別授業等を通して、「わかる楽しさ」を味わい、基礎基本の学力を身につけます。
2. 『社会で活躍する力』の育成
デュアルシステムやエンパワメントタイム(各学年4時間以上)を通して、コミュニケーション力やプレゼンテーション力など、社会で活躍する力を育成します。
3. 『進路実現』に向けた着実なステップ
1年次は基礎学力づくり、2年次は検定・資格取得を含めた進路の方向付け、3年次は進路実現と卒業後の進路先で力を発揮するための学力や社会で活躍する力を伸ばします。

■デュアルシステム

150社を超える地元企業の協力を得て、デュアルシステムの第一歩として、1年次生全員が事業所、施設等で「インターンシップ」を体験します。
さらに、2、3年次では毎週1日6時間の職場体験実習を行う「デュアル実習」をはじめ、プレゼンテーションの演習を行う「デュアル基礎」など、学校と地域が一体となって、社会で活躍する力を身につける授業を実施します。

■教育課程のイメージ

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
|-----|------|---|------|-----|----|--------------|----|----|------|---------|------|----|----|----|-------|----|--------------------------------------|--------------------------------------|------|----|-------|----|---------------|----|----|-------|----|----|----|----|
| 1年次 | 基礎国語 | | 基礎数学 | | | コミュニケーション英語Ⅰ | | | 社会入門 | | 理科入門 | | 体育 | | 保健 | | 音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ | | 家庭基礎 | | 社会と情報 | | ※1 エンパワメントタイム | | | 10分学習 | | | | |
| 2年次 | 国語総合 | | | 数学Ⅰ | | 英語 | | 地歴 | | 科学と人間生活 | | 体育 | | 保健 | | 選択 | | ※2 デュアル実習に関する科目(8単位) (エンパワメントタイム) | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | ※3 選択 | | | | | | | | | | | | |
| 3年次 | 国語 | | 数学 | | 英語 | | 地歴 | | 現代社会 | | 理科 | | 体育 | | 選択 ※3 | | ※2 デュアル実習に関する科目(8単位) (エンパワメントタイム) | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | ※3 選択 | | | | | | | | | | | | |

※1:「インターンシップ」は1年次のエンパワメントタイムにおいて実施

※2:「デュアル実習に関する科目」は、週1回のデュアル実習と事前・事後学習を実施

※3:「進路実現に必要な資格取得をめざす講座」や「進学に向けた講座」などを実施

■系列設置の趣旨

生徒一人ひとりが、自らの可能性を伸ばし、夢を実現することができるように、進路のニーズに応じた3つの系列を設置します。

各系列では、グループワークやアクティブラーニングを多く取り入れ、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を育成し、社会での即戦力を育成する授業を実施します。

【系列の内容と主な科目の例】

①「モノづくり・ビジネス」系列

⇒モノづくりやビジネスに対する興味や意欲を高めるとともに、社会性やコミュニケーション力を育み、人との接し方を身につけます。地元事業所などへの就職をめざします。

科目名…ものづくり講座、起業家講座、情報デザイン、造形基礎、ペン字、簿記基礎
ビジネス実践講座、ICT実習

資格…ビジネス能力検定(3級)、書写検定(3級)、秘書検定、簿記検定、電卓技能検定

②「教育・福祉」系列

⇒幼児教育や福祉についての興味や関心を高め、基本的な知識と技能を習得します。福祉・介護関係の事業所などへの就職や、大学・短大(教育・福祉系)などへの進学をめざします。

科目名…社会福祉基礎、介護福祉基礎、福祉と看護、手話点字、子どもの発達と保育、子ども文化

資格…介護職員初任者研修、保育技術検定(3級)、手話技能検定

③「多文化・教養」系列

⇒異文化や母国の文化(日本の文化)への理解や興味・関心を深めます。また、演習科目や資格取得に向けた取り組みを通して、就職や大学・短大などへの進学をめざします。

科目名…異文化理解、日本文化理解、中国語、韓国・朝鮮語、国語演習、小論文演習、数学演習、英語演習

資格…実用英語検定(準2級~3級)、中国語検定(3級~4級)、日本語能力試験(N1~N2)
漢字検定、語彙・読解力検定

【特色ある取り組み】

■先進的なキャリア教育の取り組み「デュアルシステム」

- 地元企業と連携して実施するデュアルシステムでは、「モノづくり(製造)」「ビジネス(販売・営業)」「保育・教育」「介護・福祉」の4分野を設定し、将来の職業生活を見据えた職場体験実習を行います。
- 学校での授業と実社会での『ほんまもん体験』を融合させた先進的なキャリア教育で、生徒の希望する進路実現をサポートします。

■多文化理解をはじめとする人権教育

- さまざまな国や地域にルーツをもつ生徒を中心に、多文化共生の集い「高校生交流会」や母語によるスピーチ大会「Wai Wai!トーク」をはじめとする各種交流会や発表会など、校内外の多くの行事に積極的に参加し、相互理解と共生社会の実現に向けて活動します。
- 「エンカウンター(心と心のふれあい)」や「アサーション(自他を尊重したコミュニケーション)」などの参加型人権学習を取り入れ、人を思いやる心や生命を大切にすることを育みます。

■きめ細かで丁寧な指導

- 「生徒一人ひとりを大切に!」「生徒の可能性を伸ばす!」をモットーに、生徒の希望する進路の実現に必要な資格取得(「介護職員初任者研修」「ビジネス能力検定」など)を積極的にサポートするなど、個々の生徒のニーズに応じたきめ細かで丁寧な指導をおこないます。

【成果指標について】

- 進路決定率を全国平均(H24:94.4%)以上にします。 <H27:78%>
- 学校教育自己診断における生徒の学校生活満足度を80%以上にします。 <H27:62%>
- デュアル実習の満足度を70%以上にします。 <H27:63%>